



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 新日本理化株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4406 URL <http://www.ni-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 芳樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理本部長 (氏名) 盛田 賀容子 TEL 06-6202-6598  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,948	△18.3	2	△99.2	214	△52.2	118	△66.9
2020年3月期第2四半期	13,397	△5.0	301	79.3	449	72.7	358	92.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 521百万円 (ー%) 2020年3月期第2四半期 17百万円 (△96.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	3.18	—
2020年3月期第2四半期	9.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	32,826	14,985	42.7	375.77
2020年3月期	32,756	14,595	41.6	365.29

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 14,010百万円 2020年3月期 13,620百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,900	△14.7	150	△65.0	550	△22.2	400	△13.1	10.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	37,286,906株	2020年3月期	37,286,906株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,515株	2020年3月期	1,214株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	37,285,577株	2020年3月期2Q	37,286,175株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界経済への深刻な影響が続く中、段階的な経済活動の再開によって回復の兆しがみられるものの、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、在宅勤務などにより継続して新型コロナウイルスの感染予防対応を行いつつ、製造・販売活動の維持・向上、高付加価値の新製品開発に取り組みました。

主要製品の概況は次のとおりであります。

オレオケミカル製品は、油脂製品においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主要な用途先である住宅、自動車等の不振により、売上高は減少いたしました。また、アルコール製品においては、一部用途向けの界面活性剤が堅調に推移したものの、全体的な市場の冷え込みから売上高は減少いたしました。

可塑剤についても主要販売先である住宅資材関連向けの落ち込みや、今夏は特に長雨の影響で屋外工事が減少し、主力製品の販売が大きく落ち込みました。

機能化学品分野においては、各種樹脂向けの添加剤製品群が新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び自動車産業の稼働減の影響等により販売量が減少いたしました。

樹脂原料分野においても同様に自動車向け塗料の低迷等により売上が減少しました。

樹脂添加剤は、国内顧客においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により需要減が続きました。海外においては、北米向けは市場の低迷が続きましたが、一方、欧州向けについて5月に一旦落ち込んだものの雑貨市場（食品容器等）において6月から需要が戻ってきており、売上高は前年を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、109億4千8百万円（前年同四半期比18.3%減）となり、損益面では、営業利益2百万円（前年同四半期比99.2%減）、経常利益2億1千4百万円（前年同四半期比52.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億1千8百万円（前年同四半期比66.9%減）を計上する結果となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は328億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ7千万円増加しました。

流動資産は152億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億3千6百万円減少しました。これは主に現金及び預金が4億1千3百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が17億4千3百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は175億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億7百万円増加しました。これは主に有形固定資産が5億9千2百万円、投資有価証券が5億2千6百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

流動負債は91億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億3千4百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が14億2千1百万円、1年内返済予定の長期借入金が3億5千万円それぞれ減少したことなどによるものであります。固定負債は87億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億1千5百万円増加しました。これは主に長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は149億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9千万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が4億3千9百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は42.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、4億1百万円増加し、33億2千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は3億9千6百万円増加（前年同四半期は14億2千1百万円増加）しました。これは主に、仕入債務が14億2千1百万円、売上債権が17億4千3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は9億7千9百万円減少（前年同四半期は5億6千4百万円減少）しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9億6千4百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は9億8千4百万円増加（前年同四半期は6千1百万円増加）しました。これは主に、借入金の増加11億1千7百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

詳細につきましては、2020年11月12日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,070	3,484
受取手形及び売掛金	8,724	6,981
商品及び製品	2,109	2,177
仕掛品	1,246	1,253
原材料及び貯蔵品	999	1,093
その他	179	305
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,328	15,292
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,281	4,281
その他(純額)	4,692	5,285
有形固定資産合計	8,974	9,567
無形固定資産	56	52
投資その他の資産		
投資有価証券	6,879	7,406
その他	517	509
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,396	7,914
固定資産合計	16,427	17,534
資産合計	32,756	32,826

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,474	3,053
短期借入金	2,386	2,392
1年内返済予定の長期借入金	2,066	1,716
未払法人税等	103	69
賞与引当金	244	238
その他	1,792	1,664
流動負債合計	11,068	9,133
固定負債		
長期借入金	3,808	5,270
役員退職慰労引当金	75	73
退職給付に係る負債	1,820	1,826
その他	1,387	1,537
固定負債合計	7,091	8,707
負債合計	18,160	17,841
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,075	4,075
利益剰余金	3,337	3,344
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,074	13,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,167	1,606
為替換算調整勘定	△574	△634
退職給付に係る調整累計額	△46	△42
その他の包括利益累計額合計	546	929
非支配株主持分	975	975
純資産合計	14,595	14,985
負債純資産合計	32,756	32,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	13,397	10,948
売上原価	10,920	8,851
売上総利益	2,477	2,096
販売費及び一般管理費	2,176	2,093
営業利益	301	2
営業外収益		
受取配当金	83	80
持分法による投資利益	65	103
その他	30	54
営業外収益合計	180	239
営業外費用		
支払利息	21	21
為替差損	5	1
その他	5	4
営業外費用合計	32	27
経常利益	449	214
特別損失		
固定資産除却損	3	5
減損損失	-	11
投資有価証券評価損	-	23
特別損失合計	3	40
税金等調整前四半期純利益	446	174
法人税、住民税及び事業税	65	39
法人税等調整額	1	△2
法人税等合計	66	36
四半期純利益	379	137
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	358	118

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	379	137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△277	439
為替換算調整勘定	△7	1
退職給付に係る調整額	2	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△79	△61
その他の包括利益合計	△362	383
四半期包括利益	17	521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3	502
非支配株主に係る四半期包括利益	21	19

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	446	174
減価償却費	335	315
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△1
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	38	9
受取利息及び受取配当金	△87	△83
支払利息	21	21
持分法による投資損益(△は益)	△65	△103
固定資産除却損	3	5
減損損失	—	11
投資有価証券評価損益(△は益)	—	23
売上債権の増減額(△は増加)	1,750	1,743
たな卸資産の増減額(△は増加)	94	△160
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,163	△1,421
その他	△33	△254
小計	1,347	272
利息及び配当金の受取額	126	211
利息の支払額	△22	△22
法人税等の支払額	△29	△65
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,421	396
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△8	△10
有形固定資産の取得による支出	△609	△964
無形固定資産の取得による支出	—	△1
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	50	5
その他	4	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△564	△979
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△388	5
長期借入れによる収入	1,400	2,600
長期借入金の返済による支出	△931	△1,488
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△1
配当金の支払額	—	△110
非支配株主への配当金の支払額	△17	△19
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	61	984
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	920	401
現金及び現金同等物の期首残高	2,347	2,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,267	3,322

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。